

ジャイアンツタウンスタジアム完成



球場を一周できるコンコース



共同開発の人工芝

サブグラウンド

プロ野球読売巨人軍の新ファーム本拠地となる「ジャイアンツタウンスタジアム」が完成した。明日の開幕日には、記念試合が行われる。ナイターを含めて年間60試合ほどが予定される2軍公式戦の迫力あるプレーが観客席から堪能できる作りとなっている施設の設計を日建設計、施工を西武建設が担当した。スタジアムの隣では関東最大級の大水槽を設ける水族館の建設工事も始まった。国内初の水族館一体型球場、飲食施設、駐車場からなる「TOKYO GIANTS TOWN」は2027年にグランドオープンを迎える。

あす開業



東京ジャイアンツタウン・マネジメントカンパニー

社長 長谷川 聖治

巨人軍ファームの新たな本拠地

読売新聞東京本社、読売巨人軍、よみうりランドの3社による新たな「TOKYO GIANTS TOWN」構想の第一弾となる「ジャイアンツタウンスタジアム」(略称：Gタウン)が東京都稲城市に完成しました。巨人軍の新ファーム本拠地として3月1日に開業し、記念試合(巨人VSヤクルト2軍戦)が行われます。

Gタウンは、両翼100m、中堅122mの人工芝球場です。フェアゾーンの大きさや外野フェンスの高さは東京ドームと同じサイズです。ロングパイル人工芝と天然素材チップ「パームフィル」を組み合わせた人工芝は、住友ゴム工業(兵庫県神戸市中央区、山本哲社長)と巨人軍が開発したものです。夏場の表面温度上昇を抑制し、選手の負担となる夏場のデーゲームで立ち込める熱気を少しでも抑制できると考えています。

通常の球場はすり鉢状のスタンドですが、Gタウンは2階席、3階席の重層的な構造としました。どの席からもグラウンドに近く、選手を間近に見てほしいという私たちの願いを形にしました。お客さまには、迫力あるプレーをお楽しみいただけたらと思います。

ナイターを含めて年間60試合ほどが予定されている2軍公式戦「イースタン・リーグ」のほか、3軍戦、ジャイアンツ女子野球チーム、U-15ジュニアユースチームの試合や練習も行われます。高校野球の東京都予選や東都大学リーグ、首都大学リーグにも貸し出す予定です。また、読売グループによるスポーツスクール事業を展開するなど、子どもたちがさまざまなスポーツに触れる機会を提供していきます。野球の試合やイベントがないときには、近隣住民をはじめ一般にも開放します。

「TOKYO GIANTS TOWN」構想は、国内初の水族館一体型球場と飲食施設、駐車場からなるものです。本年1月には大水槽や水中回廊を設ける水族館も着工しました。Gタウンは年間30万人の観客動員を目標としています。Gタウンは年間160万人以上が訪れるにぎわいを目指してまいります。

稲城に球場中心の新たな街

設計コンセプト

生活に溶け込んでいた多摩川グラウンドの原風景を建築として再構築することを試みました。まず最初に「壁をなくす」。観客席の裏側を巨大な壁としてまちに向けるようなことはせず、分節されたボリュームの間にいくつものアプローチを挿入しています。防球ネットは建物と一体化して高い位置に留め、足元がまちに開放されています。場内からも遠く街並みに視線が届きます。

まちと育む成長の器

次に「前列の席だけをつくる」。4列に絞った臨場感の高い観客席だけをファールラインに沿って等幅で配置しました。これはお目当ての選手の守備位置がどこであっても近くで応援できる仕掛けでもあります。2層重ねの観客席は日除け・雨除け・ボール除けとなり、うたた寝をしても、子供連れでも安心してたずむことができます。

最後に「公園としてつくる」。周回コンコースやリボン状の緑、舗装材の連続など、いわば立体的な散歩道が球場全体を覆うように構成しました。道すがらブルペン練習がのぞけたり、芝生席のベンチで休憩できたりもします。公園と言いつつ、有機的な自然を擬態しないのには、水平垂直基調の力強い直線構成によって巨人軍の正統性・質実剛健さを表現する意図があります。

この球場が、選手の成長を見守る豊かな背景となることを願っています。日建設計・設計グループダイレクター 高木研作



入口

施工のポイント

重機災害防止を重点に安全管理
今回の現場は、観客席をメインとする建築構造物と、高さ50mを越える防球ネットの工事を並行して進めるものでした。そのため、施工順序、揚重機の配置と使用範囲の設定に重点を置いた計画を立てて臨みました。大型重機を複数使用することになったため、搬入から作業範囲の区分けを行い、複数のゲートから計画的に工事を進めていきました。重機物を搬送する作業や工区分けも多いため、安全管理は重機災害の防止を重点とし、玉掛け、合図の徹底と作業区画の明確化に取り組みました。

この現場は、観客席をメインとする建築構造物と、高さ50mを越える防球ネットの工事を並行して進めるものでした。そのため、施工順序、揚重機の配置と使用範囲の設定に重点を置いた計画を立てて臨みました。大型重機を複数使用することになったため、搬入から作業範囲の区分けを行い、複数のゲートから計画的に工事を進めていきました。重機物を搬送する作業や工区分けも多いため、安全管理は重機災害の防止を重点とし、玉掛け、合図の徹底と作業区画の明確化に取り組みました。

工事概要

- 工事名称: 読売ジャイアンツ南山ファーム球場新築工事
- 建物名: ジャイアンツタウンスタジアム
- 建設地: 東京都稲城市矢野町
- 建築主: 株式会社読売巨人軍
- 設計・監理: 株式会社日建設計
- 施工: 西武建設株式会社
- コンストラクション・マネジメント: シービーアールイー株式会社
- 敷地面積: 35,131.82㎡
- 建築面積: 5,352.12㎡
- 延べ床面積: 7,625.51㎡
- 構造: R C造一部S造、SRC造
- 階数: 地上3階
- 主要用途: 観覧場(野球場)
- 工期: 2023年7月6日～2025年2月21日
- 上空からの撮影: 小椋裕一

施工



西武建設株式会社

埼玉県所沢市くすのき台 1-11-1
電話 04-2926-3311

電気設備工事



東京都江東区豊洲 5-6-36 電話 03-6807-3111

空調給排水衛生設備工事



東京都港区芝浦 1-2-1 電話 03-5765-6913

- 内装仕上工事
株式会社 アート・フロンテア
東京都練馬区石神井台 5-22-3 電話 03-3920-9088
- ALC工事(シボレックス)
アイカテックエンジニアリング株式会社
東京都練馬区豊玉北 6-5-15 電話 03-5912-5280
- 防水工事
株式会社 アイビー防水
埼玉県草加市水川町 2104-1-4F 電話 048-947-6161
- 防水工事
株式会社 栄和ビルド
東京都調布市深大寺東町 2-4-6 電話 042-488-1654
- コンクリート工事
SKマテリアル株式会社
埼玉県狭山市入間川 3-1-4 電話 04-2900-7805

- 山留工事
江戸鉄株式会社
東京都江戸川区篠崎町 7-21-12 電話 03-3698-2222
- 金属・内外装工事
有限会社 小澤建築
東京都福生市大字熊川 1335 電話 042-553-8871
- ガラス工事
株式会社 小畑ガラス
埼玉県所沢市松郷 152-12 電話 04-2945-3362
- 鉄骨工事
株式会社 カナックス
東京都港区西新橋 1-6-15 電話 03-6373-0511
- 型枠工事
株式会社 木村工業
東京都八王子市宇津木町 895-1 電話 042-692-0734

- 左官工事
株式会社 久保協工業所
東京都練馬区春日町 6-10-40 電話 03-3999-3360
- 杭地業工事
ジャパンパイル株式会社 東京支店
東京都中央区日本橋箱崎町 36-2 電話 03-5843-4191
- 植栽工事
西武造園株式会社
東京都豊島区長崎 5-1-34 電話 03-5926-5600
- 仮設・土・コンクリート工事
関根建設株式会社
東京都豊島区東池袋 2-11-11 電話 03-3984-6891
- 内外装工事
双日建材株式会社
東京都千代田区大手町 1-7-2 電話 03-6870-7810

- 金属工事
株式会社 Door's
川崎市宮前区宮前平 1-7-5-3F 電話 044-789-8041
- スタイロフォーム販売・施工
東都機材株式会社
東京都中央区日本橋蛸殻町 1-4-1 電話 03-3639-8321
- 鉄筋工事
飛田鉄筋工業株式会社
東京都板橋区赤塚 3-20-7 電話 048-421-3960
- 型枠工事
株式会社 中澤工務店
東京都中野区本町 5-46-4 電話 03-3383-3958
- バックスクリーン・バックネット工事
長谷川体育施設株式会社
東京都世田谷区太子堂 1-4-21 電話 03-5779-6570

- 板金・屋根工事
有限会社 ハラバン
東京都新宿区下落合 4-7-21 電話 03-5982-0130
- 外構工事
前田道路株式会社 調布営業所
東京都調布市深大寺東町 8-15-8 電話 042-481-6171
- 塗装工事
横浜塗装工業株式会社
横浜市鶴見区鶴見中央 2-8-28 電話 045-501-3003
- 金属工事
吉田工業株式会社
東京都足立区綾瀬 7-4-2 電話 03-6802-6011

【 順不同 】